

「新城リレーマラソン大会」に出場！

こんにちは。先日 11 月 3 日に、新城市で開催された「新城 RUN FES」に出場して参りました。21km のコースを約 10 名で継走するリレーマラソン大会です。

当社からは 18 名が出場し、2 チームで参加しました。結果はご愛嬌（？）ではありましたが、全員完走することができました。

個人でマラソン大会に出場するよりも、やはり仲間で励まし合いながら走るマラソンはモチベーションも高く、完走し終わった後は達成感もひとしおでした。



今月のカーテンよもやま話



今回は、窓用カーテンについてお話をいたします。窓に取り付けるカーテンは、大きく分けて、「ドレープカーテン」「レースカーテン」に分かれます。

「ドレープ」とは重厚感のある厚手の生地のことを言い、ドレープ生地を使用したカーテンをドレープカーテンと呼びます。知っている方もおられるのですが、意外と「ドレー

プ」の名称は知られておらず、「窓カーテン」と呼ばれる方も少なくないようです。

ドレープカーテンは用途と素材によって、更に「ドレープカーテン」「遮光カーテン」に分かれます。ドレープカーテンは厚手で柄がありますが、光を通します。それに対して、遮光カーテンは光を通し辛い生地や、裏地を利用して遮光性を高めています。

レースカーテンは、透明感のある、薄手の生地で作られており、通常ドレープと二重で吊られます。

他にも、ドレープとレースの間である「ケースメント」があります。一見レースのように見えますが、ドレープのようなボリュームもあり、単体でも使用することが出来ます。



お客様の病室にて

先日、突然の汚れが出てしまった病室のカーテンの交換に伺った時のことです。4人部屋の、ちょうど5・6歳ぐらいの女の子のベッドのカーテンが汚れてしまっていました。

女の子は元気で、交換作業を始めると興味津津。カーテン交換中も、作業のスピードに「速～い」、代えのカーテンに「きれい！」などと反応してくれて、部屋内を活気づけていました。

交換が終了して、部屋を出る際に一言お礼を言うと、女の子は、「あ～よかった！ぐっすり眠れそう！」と言ってくれました。

カーテンの交換という仕事は、ただ清潔さを保つだけではない。患者さんの「ぐっすり眠れる」という快適さを提供するための大切な仕事なんだと感じた瞬間でした。

